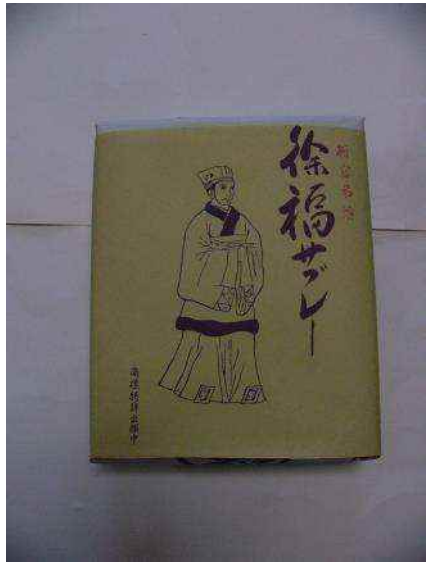
令和四年度市民との協働によるまちづくり提案事業

舞台から八女の徐福文化を発信する
ー徐福八女長寿茶山踊りと商品開発ー



活動目的

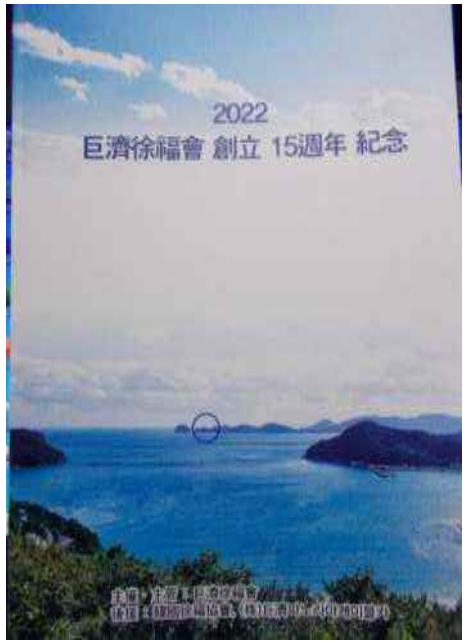
　八女市山内の童男山古墳に残る徐福伝説「童男山ふすべ」を通して、八女市に残る徐福伝説を発展させるため、徐福の研究と顕彰活動を行っています。さらに、日本・中国・韓国等の徐福会、研究会、研究者との国際交流活動を進める一方、童男山・犬尾城址保存会と協力して「童男山ふすべ」の保存継承を進めるため、市内外や国際交流などの対外活動を目的とした八女徐福会を平成２５年に設立し、会員約３５名で活動しています。
H29-31年は八女の徐福文化を国内外に発信し、世界無形文化遺産登録に向けて中韓日の交流を中心に事業を進めてきました。令和３年からは引き続き交流事業を進める一方、徐福文化を広く一般に普及するため舞台からのアピールを行い、さらに徐福資源を生かして地元産品とコラボした商品開発を行い、地域経済の活性化を探ります。さらに、地元小学校と連携し徐福文化の普及を図っています。

活動内容

- 令和４年度は引き続きコロナ感染拡大防止のため、国内外において事業の中止や延期が相次ぎましたが、活動の制限を受ける中、できる範囲の中で徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指し事業を行いました。
- (徐福文化交流事業)
- 令和４年
- １０月１日　　筑紫徐福会発会式・研修会(筑紫野市歴史博物館)
- １０月３０日　韓国巨済徐福会１５周年記念会(韓国巨済市一運面繁栄会館)
- １２月１７日　九州徐福文化フォーラムIN佐賀・徐福講演会(佐賀市徐福長寿館)
- 令和５年
- ２月１８日　　佐賀県徐福会講演会(佐賀市徐福長寿館)

  ２月１９日　　八女の徐福文化を発信する一徐福関連商品開発ワークショップ

  - (おりなす八女)


2022
巨濟徐福會 創立 15週年 紀念

巨濟徐福會 創立 15週年 紀念

筑紫徐福会発会式

八女の徐福文化を発信する
―徐福関連商品ワークショップ―

ワークショップ(テーマ八女茶)

八女茶

○お茶の入浴剤、肌にやさしく、香りよく、除菌作用がある。
○ハーブをまぜて香茶
○お茶の歯磨き粉、お口の消臭
○青のりのかわりに粉茶、例、たこ焼き、お好み焼
○お茶の手すき和紙
○茶染めスカーフなど
○お茶の陶器。粘土に混ぜて。
○お茶の実のオイル。髪、フェイスに。
○消臭剤。除菌する時代にお茶の香りする。
○お茶を動物に飲ませ、毛玉とりとする。犬、猫茶。
○大きくなった茶木を煎じて、漢方にする。徐福長寿薬。
○お茶の葉と木の廃木する分から、アロマ抽出。
○お茶のドライフラワー

ワークショップ(テーマ徐福文化を広げる)

徐福文化を広げる

○観光資源として徐福像を知らせる。徐福関連の商品。
○友好の資源。徐福は中・韓・日の共通の平和の使者。
○徐福文化とは。徐福が伝えたといわれるものは。
○五穀とは。米・麦・キビ・アワ・豆。
○徐福ラーメン、うどん。
○劇を別パターンで作る。韓国・中国用。
○Wifi。徐福・ジョフク・じょふく。
○新聞の折り込みチラシー求人欄―に掲載を依頼する。
○歴史的資源。日本の歴史にどう関わったか。

ワークショップ(テーマ童男山古墳周辺整備と童男山ふすべ)

童男山古墳周辺整備と童男山ふすべ

(童男山ふすべ)

○ドローンを使用して視覚による広報活動を行う。

○CMを作り、みんなに広める。

(童男山古墳周辺整備)

○地元の人、八女市、古墳好きな人に関わってもらい、毎月○週○曜日で整備し、バイト料を出して活動のモチベーションを上げる。

○童男山古墳に、まずは、トイレをきれいに整備する。ふれあいの家跡地に遊具の充実した公園にする。

○442号線昇り口に童男山の看板、トイレ設置。

○そうじをする。(年に一回くらい)

○徐福広場及び古墳周辺に中国伝来の樹木であるローバイを植樹する。(小学生、保存会、保護者、町内共同による)ローバイは一月から二月に開花する。

○地元産の長野石を用いて、童男・童女三千体を古墳周辺に配置。む

○童男・童女の石像は結婚や、誕生日などの記念に作り、制作、設置してもらう。

○車椅子の方も大変だったと思いますが、高齢者も多いので、ふすべの会場に上がるのが大変そうだった。会場まで上がるのにスムーズに行ける道が整備されたらいいなと思う。

○童男山２１号、３号古墳がありますが、楠の木が生えており神秘的なので、これらにも、徐福のシンボルを設置したらどうでしょうか。

○韓国尚州里にある石刻と同じレプリカを作り、秦の始皇帝との関りを作る。

ワークショップ(テーマ韓国巨済市との交流)

韓国巨済市との交流

○オルレ交流。済州島発と同じような独自のコースがある。
○筑紫君磐井の巨済市の古代交流を探る
○漁業体験
○ビールまつりへの参加
○徐福会相互交流
○特産品の相互販売
○市長訪問。八女市へ。
○巨済市八女市、相互交流
○巨済市での緑茶販売、コーヒーショップで。
○修学旅行
○離島訪問
○職員人事交流
○お互いの酒を飲みあう交流
○職員旅行
○交流のための視察研修への助成(要レポート)
○八女市小学校、中学校、高等学校から徐福をお知らせする講演が必要。(韓国から)
○八女市と巨済市は姉妹都市なので、巨済徐福会が八女市の小学校、中学校、高等学校で巨済徐福伝承地を紹介する時間を持っていただけたらいいです。(韓国から)

- (徐福普及活動)
- コロナ感染拡大防止のためイベントの中止、施設等訪問禁止のため活動が限られました。
- 令和４年
  - 昨年に引き続き令和４年５月まで、(社法人)日本中国友好協会発行の日中友好「日本と中国」に全国の徐福伝承地を紹介しました。
- ５月２１日　八女徐福会総会・研修会(山内集会所)
- ７月８日　　川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」学習会打ち合わせ(川崎小学校)
- １０月２０日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」合同学習会(川崎小学校)
- １１月１０日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」合同学習会(川崎小学校)
- １１月２５日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」学習会発表会(川崎小学校)
- 令和５年
- １月２０日「童男山ふすべ」川崎・忠見小学校合同開催
- ドローン撮影(童男山古墳)

- (徐福商品開発事業)
- 令和４年
- ６月　　徐福キーホルダー・八女徐福長寿飴、シール
- ８月　八女徐福長寿飴販売開始
- 令和５年
- 1月　「童男山ふすべ」・ドローン撮影、ユーチューブ編集作成

- (特記事項)
- 日本徐福協会を通じて日本全国の徐福伝承地と交流を深め、さらに中国、韓国の徐福団体との交流を深めています。特に、九州地区(福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)の徐福団体とは巡回セミナーの共同開催などで事業を進めています。
  - しかし、コロナの鎮静化が見られましたが、コロナの感染拡大により、中国、韓国との渡航が制限され、各国で開催のシンポジゥムやセミナーは中止や延期、リモートでの開催になりました。その中で、渡航制限解除がされたため、１０月３０日開催の巨済徐福会１５周年事業に、八女徐福会から３名参加しました。日本においても国内の移動が自粛される中、筑紫徐福会発会式に参加、商品開発ワークショップ、川崎・忠見小学校合同学習会で、徐福座の公演を行いました。また、八女徐福座の公演も活動が限定的になりましたが、日頃より練習を重ねています。
- 徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指しては、中・韓・日の３ヵ国の徐福団体とオンラインやメールを通じて交流を継続し協力して活動を行っています。
- このような中で、川崎・忠見小学校児童の「童男山ふすべ」３回の授業、学習発表会をはじめ、イベント参加者、童男山ふすべ、八女オルレコース遊歩参加者にパンフレットや徐福タオル、キーホルダーの配布を行いました。また、イベント時には、八女徐福長寿茶、飴の販売を行い、八女の徐福文化の発信を行いました。

- ご清聴ありがとうございました